

# スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



ブラジル連邦共和国

Federative Republic of Brazil



都市名	人口（万人）
ブラジリア（首都）	282
サンパウロ	1145
リオデジャネイロ	621
フォルタレザ	243
サルバドール	242
ベロオリゾンテ	232
マナウス	206

（出所）総務省「世界の統計 2025」

# 目次

## スポーツ関連

### 【市場情報】

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要市場情報 3

### 【スポーツ習慣】

- 現地で盛んな競技 4
- 一人当たりスポーツ支出 5
- 主なスポーツリーグ 6
- 主なスタジアム 7

### 【業界情報】

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 8
- 現地主要企業 9
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 10
- スポーツ産業に係る日本企業の進出状況 11

### 【展示会、国際競技大会等開催情報】

- 商談会・展示会開催情報 12
- 国際競技大会開催情報 13

### 【政策動向】

- スポーツ基本計画概要 15
- SDGsへのコミットメント、SDGs×スポーツの取組 16
- 「女性の活躍推進」に関する取組 17
- 「健康・福祉」に関する取組 18

## 一般概況

### 【経済】

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 19
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 20
- 世帯所得分布 21
- 賃金 22

### 【健康・医療】

- 医療費支出 23
- 疾病構造・死亡要因 24

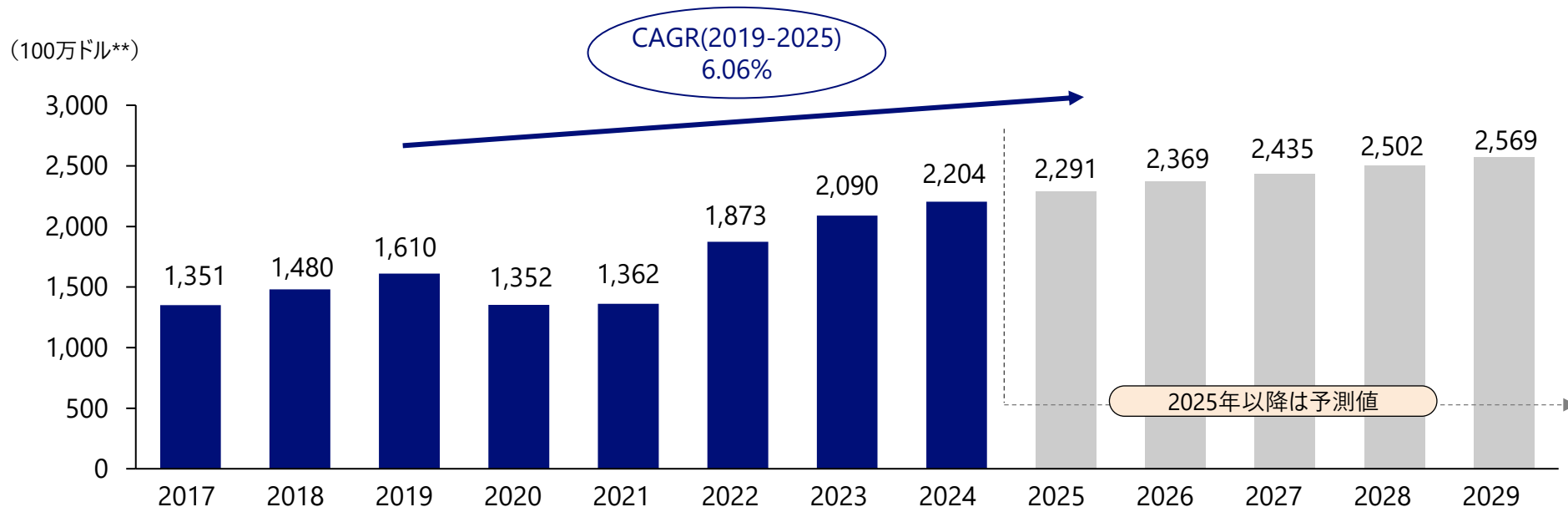
### 【規制】

- 外資に関する規制 25

## スポーツ産業市場規模推移

- 2024年のブラジル連邦共和国におけるスポーツ産業市場\*は約22億ドル\*\* (約3,300億円\*\*\*) であり、2019年から2025年までの年平均成長率 (CAGR) は約6.06%である。
- 経済の不安定さや投資不足、トレーニング施設の不足等が市場に悪影響を及ぼしているものの、スポーツに対する国民的情熱や世界の舞台における代表チームの活躍によってスポーツ産業市場の成長が牽引されている。

### スポーツ産業市場規模推移



\*興業スポーツの市場規模の数値であり、スポーツ用品業等は含まれていない。

\*\*本レポート上の“ドル”は米ドルを表す (次頁以降同様)

\*\*\*1ドル150円で換算 (次頁以降同様)

(出所) Statista

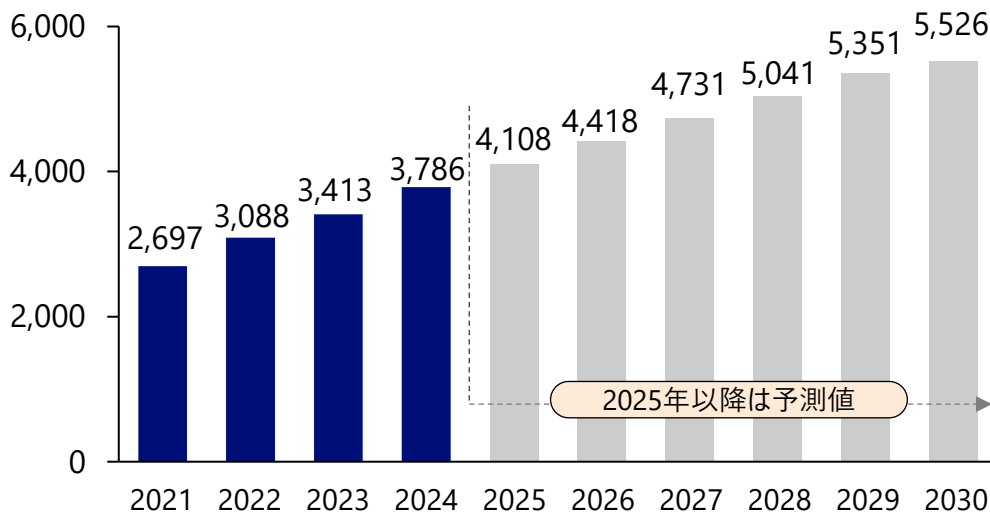
## 主要市場情報 (スポーツ用品、フィットネス市場)

### 👕 スポーツ用品市場

- 2024年のスポーツ用品の市場規模は約37億8600万ドルであり、エクササイズ用品、ウォータースポーツ用品、アウトドア用品、釣り用品の順で多い
- スポーツ用品市場は2020年以降急成長しており、2025～2029年の年平均成長率は約6.83%と予測

#### スポーツ用品市場規模推移

(100万ドル)

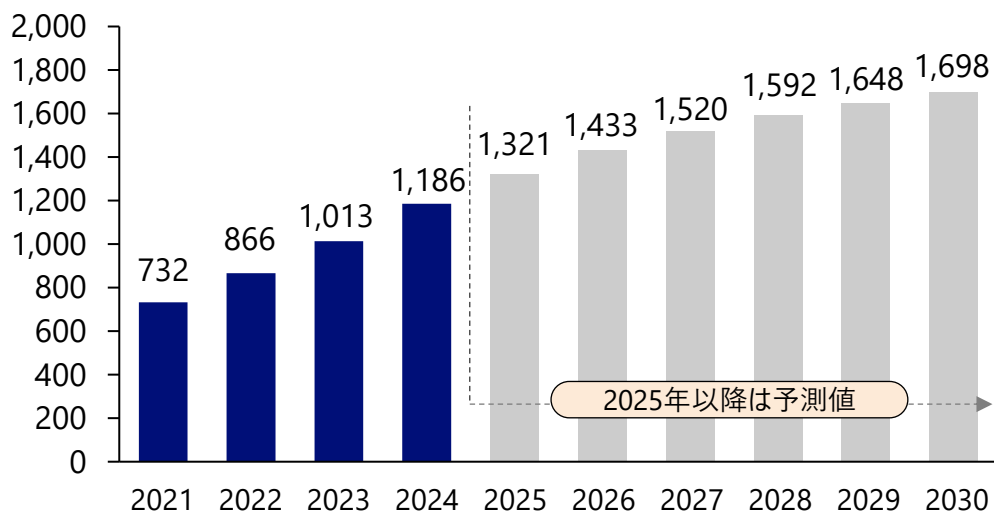


### 🏃 フィットネス市場

- 2024年のフィットネス市場\*の市場規模は約11億8600万ドル
- 2025～2029年の年平均成長率は約5.69%と予測

#### フィットネス市場規模推移

(100万ドル)



\*「Digital Fitness & Well-Being」セグメントを対象として記載

(出所) Statista

## 現地で盛んな競技

- 2024年におけるスポーツ産業の売上は約22億ドル (3,300億円) であり、サッカーが9割以上を占める。
- 2024年のパリオリンピックでは、体操、柔道、バレーボールで金メダルを獲得したほか、陸上競技やスケートボード、サーフィンでも複数のメダルを獲得している。また、2024年のパリパラリンピックでは、陸上競技、水泳を中心に合計89個のメダルを獲得している。

### ブラジル連邦共和国で盛んな競技

競技ごとの産業規模

競技	市場規模 (100万ドル)
サッカー	2038.35
アメリカンフットボール	95.56
バスケットボール	50.71
野球	16.14
クリケット	2.76

パリ2024オリンピックにおけるメダル獲得数

競技	総数	金	銀	銅
陸上競技	2	0	1	1
体操	4	1	2	1
柔道	4	1	1	2
ボクシング	1	0	0	1
バレーボール	2	1	0	1
テコンドー	1	0	0	1
スケートボード	2	0	0	2
サッカー	1	0	1	0
サーフィン	2	0	1	1
カヌー	1	0	1	0

パリ2024パラリンピックにおけるメダル獲得数

競技	総数	金	銀	銅
陸上競技	36	10	11	15
水泳	26	7	9	10
柔道	8	4	2	2
パワーリフティング	4	2	0	2
カヌー	4	1	2	1
卓球	4	0	0	4
テコンドー	2	1	0	1
射撃	1	0	1	0
トライアスロン	1	0	1	0
ブラインドサッカー	1	0	0	1
ゴールボール	1	0	0	1
バドミントン	1	0	0	1

## 一人当たりスポーツ支出

■ ブラジル連邦共和国における2026年\*の一人当たりスポーツ支出\*\*は30.81米ドル（4,622円）である。

### 一人当たりスポーツ支出 (国別)

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
アメリカ	236.78
イギリス	161.61
オーストラリア	112.67
日本	93.5
シンガポール	87.13
ドイツ	42.11
韓国	85.6
フランス	83.74
サウジアラビア	45.35
アラブ首長国連邦	36.85

国	一人当たり スポーツ支出 (ドル)
中国	36.4
南アフリカ	35.26
インドネシア	33.73
ベトナム	33
ブラジル	30.81
マレーシア	29.87
タイ	26.09
フィリピン	25.38
カンボジア	16.29
インド	16.14
ラオス	14.83

\*2026年の予測値 (他国も同様)

\*\*「Sports」及び「Sports Equipment」セグメントの合計値

## 主なスポーツリーグ

- ブラジルではサッカーの人気が高く、全国リーグとして男子サッカーのCampeonato Brasileiroが存在。各州のリーグ上位が、並行で開催される全国リーグに参加するのが特徴。

### ブラジル連邦共和国における主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数*	主要チーム	主要スポンサー*
Campeonato Brasileiro Série A	サッカー (男子1部)	1971	20	4月～12月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>Flamengo</li> <li>Palmeiras</li> <li>São Paulo FC</li> <li>Corinthians</li> </ul>	—
Campeonato Brasileiro Série B	サッカー (男子2部)	1971	20	4月～11月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cruzeiro</li> <li>Grêmio</li> <li>Vasco da Gama</li> </ul>	—
Campeonato Brasileiro Série A Feminino	サッカー (女子1部)	2013	16	3月～9月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>Corinthians Women</li> <li>Ferroviária</li> <li>Palmeiras Women</li> </ul>	—
Novo Basquete Brasil	バスケットボール	2008	16～18	10月～翌6月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>Flamengo</li> <li>Franca</li> <li>Minas</li> </ul>	—
Superliga Brasileira de Voleibol	バレーボール (男女)	1994	男女各12	10月～翌4月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>Sada Cruzeiro (男子)</li> <li>Minas (女子)</li> <li>Osasco (女子)</li> </ul>	—
Kings League Brazil	7人制サッカー	2025	10	3月～5月	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>FURIA FC</li> <li>LOUD FC</li> </ul>	—

\*ハイフンは非公開もしくは情報なし (次頁以降同様)

(出所) 各種HPよりEY作成

## 主なスタジアム

- 主要スタジアムとして、国立競技場として建設されたArena BRBが存在し、サッカーや大規模国際大会等に使用されている。
- その他、サッカーを主用途とし、数万人規模の観客を収容可能なスタジアムが多数存在する。

### 主なスタジアム（収容人数5万人以上）

スタジアム名	都市	収容人数	設立年	主な利用目的
Maracanã	リオデジャネイロ	73,609	2013	サッカー
Arena BRB	ブラジリア	72,000	1965	大規模国際大会等（国立競技場）
MorumBIS	サンパウロ	67,428	1960	サッカー
Estádio Castelão	フォルタレザ	63,903	1973	サッカー
Estádio Mineirão	ベロオリゾンテ	61,919	1965	サッカー
Arena do Grêmio	ポルトアレグレ	55,662	2012	サッカー
Estádio do Arruda	レシフェ	53,289	1972	サッカー
Estádio Olímpico Monumental	ポルトアレグレ	51,081	1981	サッカー
Estádio Beira-Rio	ポルトアレグレ	50,842	1969	サッカー
Estádio Serra Dourada	ゴイアニア	50,049	1975	サッカー
Arena Fonte Nova	サルヴァドール	50,000	2013	サッカー

## 日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
Campeonato Brasileiro Série A (サッカー)	Esporte Clube Bahia	Viva Sorte Bet, Viva Sorte, UNFPA, MWS, Casa de Apostas Arena Fonte Nova, Irmã Dulce, MXM	City Football Group	横浜F・マリノス
Campeonato Brasileiro Série A (サッカー)	Red Bull Bragantino	Red Bull, Betfast, Yanmar	Red Bull	RB大宮アルディージャ
Campeonato Brasileiro Série A (サッカー)	Grêmio Foot-Ball Porto Alegrense	Banrisul, Marquespan, Unimed Porto Alegre, New Balance, Brahma, Zé Delivery, Pepsi, JBL	—*	FC大阪
Campeonato Brasileiro Série A (サッカー)	Santos Futebol Clube	7K	—*	大分トリニータ

\*所有者としての単一企業や投資家は存在せず、会員制クラブとして運営

## 現地主要企業（スポーツ用品とフィットネス業界）

- ブラジルのスポーツ関連企業としては、大手フィットネスジム運営企業のSmart Fit、スポーツ用品メーカーのCambuci S.A.、スポーツ用品小売チェーンのGrupo SBFが存在する。

### 現地主要企業（スポーツ用品とフィットネス業界）

企業名称	カテゴリ	概要
Smart Fit	フィットネスクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ブラジル発の大手フィットネスジム運営企業。</li> <li>• 南米全域で最大規模を誇り、会員数ベースで世界第4位。</li> </ul>
Cambuci S.A.	スポーツ用品	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツ用品ブランド「Penalty」を擁するブラジルのメーカーで、1970年にサンパウロで創業し、サッカーやバレーボールなど団体競技向けのシューズ・ユニフォーム・ボール等を製造。</li> <li>• 国際サッカー連盟（FIFA）などから公式認証を得た高品質な製品を武器に海外20以上の国・地域へ製品を輸出しており、ブラジル国内における主要スポーツ用品メーカーの一つとなっている。</li> </ul>
Grupo SBF	スポーツ用品	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スポーツ用品小売チェーン「Centaurus」を中心とするブラジルの大手スポーツビジネス企業グループ。</li> <li>• 全国で200店舗超を展開するCentaurusはラテンアメリカ最大級のスポーツ用品店チェーン。</li> <li>• 2020年には米国ナイキ社のブラジル事業（現「Fisia」）を買収してグループ化するなど、スポーツ関連のデジタルメディアやイベント事業にも積極的に拡大。</li> </ul>

## 教育分野におけるスポーツの活用動向

### 背景及び概要

- 2023年にルーラ大統領政権が発足して以降、連邦政府は学校スポーツの発展に強いコミットメントを示し、スポーツを教育政策の柱の一つとして位置付けている。
- ブラジル連邦政府は、教育におけるスポーツ振興のための制度整備とプログラム実施を推進している。2023年にはスポーツ省が再設置され、その下に全国アマチュア・教育・レジャー・社会的包摂スポーツ庁（SNEAELIS）が設けられた。この部局は「スポーツの教育的・参加型価値やレジャーを促進し、アクティブな市民性の育成と社会的包摂に寄与する」ことを使命としている。
- MEC（教育省）とスポーツ省は、協力して全日制学校のカリキュラムにスポーツや身体活動を充実させる指針を策定しており、ダンスや遊び、武道、ボードゲームといった従来の体育では扱いきれない活動も含めて提供できるよう取り組んでいる。
- 「スポーツ発展ネットワーク（Rede de Desenvolvimento do Esporte）」が2023年11月の大統領令で立ち上げられた。これはスポーツ省が教育省・保健省・社会開発省と連携して進める統合戦略であり、全国的にスポーツ設備や運動機会を増やすとともに、各地域の伝統スポーツを生かした振興策や分野横断的な施策によって、社会的包摂や生活改善、人種・ジェンダー平等の促進を図ることを目的としている。

### Programa Segundo Tempo（PST）

- 2003年に開始され現在も拡充が続く、青少年の課外スポーツ振興プログラム。
- スポーツ省傘下で再整備された本プログラムには標準型（Padrão）と大学連携型（Universitário）があり、特に標準型は公立の初等・中等教育の学生を主な対象として全国各地にスポーツ活動拠点（núcleos）を設置し、学生のスポーツ・身体活動へのアクセスを民主化し、座りがちな生活習慣や人種・ジェンダーなど構造的格差を是正することを目指す。



## スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

- ブラジル連邦共和国で活動しているスポーツ関連の主な日本企業としては、アシックス、アスレタ、シマノが存在する。
- その他、現地のディストリビューターを通じて、日本のスポーツ関連製品が展開されている。

### 現地で活動しているスポーツ関連の主な日本企業

現地法人名	日本側の主な出資企業	出資比率(%)	従業員数	事業内容
ASICS Brasil Distribuicao Ecomercio de Artigos Esportivos Ltda.	アシックス	100*	—	スポーツ用品等の販売
Athleta Brasil	アスレタ	—	—	スポーツ用品等の販売
SHIMANO LATIN AMERICA REPRESENTACAO COMERCIAL LTDA.	シマノ	100	—	自転車部品・釣具の販売

\*アシックスの完全子会社による持分を合算

## 商談会・展示会開催情報

- ブラジル連邦共和国では、最大都市のサンパウロにおいてスポーツ関連の商談会・展示会が定期的に行われている。

### ブラジル連邦共和国で開催されるスポーツ関連の商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
Hospitalar 2026	サンパウロ	Informa Markets	毎年	消耗品・整形外科、診断・ラボラトリー、機器、設備、リハビリテーション・整形外科、レスキュー・搬送、テクノロジー
gamescom latam 2026	サンパウロ	Koelnmesse	毎年	ゲーム
FITNESS Brasil Expo	サンパウロ	Fitness Brasil	毎年	フィットネス

## 国際競技大会開催情報

- ブラジル連邦共和国では、新体操、武術、柔道、スポーツクライミング、卓球、車いすラグビーの国際競技大会が開催される予定である。

### ブラジル連邦共和国で開催されたもしくは開催予定の国際競技大会（1/2）

大会名	開催時期	主催者	開催周期	参加国数	参加選手数	摘要
ITTF World Para Challenger Sao Paulo 2025	2025年4月24日～4月27日	International Table Tennis Federation	不定期	8	—	パラ卓球
IFSC World Cup Curitiba 2025	2025年5月16日～5月18日	World Climbing	毎年	23	—	スポーツクライミング
41st FIG Rhythmic Gymnastics World Championships	2025年8月20日～8月24日	World Gymnastics	毎年	77	—	体操
The 17th World Wushu Championships	2025年8月31日～9月8日	International Wushu Federation	2年	—	—	武術
ITTF World Para Elite Sao Paulo 2025	2025年10月3日～10月8日	International Table Tennis Federation	不定期	—	—	パラ卓球

## 国際競技大会開催情報

### ブラジル連邦共和国で開催予定の国際競技大会（2/2）

大会名	開催時期	主催者	開催周期	参加国数	参加選手数	摘要
IBSA JUDO GRAND PRIX	2025年12月16日～12月17日	International Blind Sports Federation	毎年	30	—	視覚障害者柔道
2026 World Athletics Race Walking Team Championships	2026年4月12日	World Athletics	隔年	52カ国*	431名*	陸上競技
Brasília 2026 FISU World University Championship Combat Sports	2026年6月8日～6月13日	International University Sports Federation	隔年	約40カ国	約1,500名	大学スポーツ
2026 Wheelchair Rugby World Championship	2026年8月15日～2026年8月24日	Brazilian Wheelchair Rugby Association*	4年	12	—	車いすラグビー
2027 Women's FIFA World Cup	2027年6月24日～7月25日	International Association Football Federation	4年	32カ国	736名	サッカー

\*前回大会の実績を記載

\*\*World Wheelchair Rugby（WWR）公認

（出所）スポーツ庁「国際交流状況等調査」及び各大会の公式HPよりEY作成

## スポーツ基本計画概要

- 全国的なスポーツ計画である「Plano Nacional do Esporte」は、2022年に政府によって法案として提出され、同年、下院において承認された。なお、2026年3月現在、同法案は上院において審議中である。

### ブラジル連邦共和国におけるスポーツ基本計画概要

計画名称	Plano Nacional do Esporte
策定年*	2022年
計画概要	ブラジル連邦政府が策定した中長期の国家スポーツ政策指針であり、スポーツを社会的権利として保障することを基本理念としている。
主要目標・施策	<ul style="list-style-type: none"><li>• スポーツ教育の充実 (学校体育・部活動)</li><li>• 国民のスポーツ参加拡大 (生涯スポーツ・健康増進)</li><li>• 競技スポーツの強化 (国際的地位の確立)</li><li>• 社会統合と包摂 (スポーツによる社会的課題の解決)</li><li>• サッカー分野の発展と男女平等の推進</li><li>• 制度整備と計画推進体制</li></ul>
主要KPI	<ul style="list-style-type: none"><li>• 定期的に身体活動を行う生徒の割合</li><li>• スポーツインフラが整備された学校に在籍する生徒の割合</li><li>• スポーツ・身体活動を行う15歳以上人口の割合</li></ul>

\*下院での承認年を記載

(出所) ブラジルスポーツ省「Política Nacional do Esporte」

## SDGsへのコミットメント・取組

### 政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、**世界54位**。(2025年)
- 主要課題が残る項目は「不平等の是正」、「持続可能な消費と生産」、「海洋と海洋資源の保全」、「陸域生態系、森林管理、砂漠化への対処、生物多様性」、「公正、平和かつ包摂的な社会の推進」である。

### SDGs17ゴールの達成状況



- (Green) : SDGsを達成している
- (Yellow) : 課題が残る
- (Orange) : 重要課題が残る
- (Red) : 主要課題が残る
- (Grey) : 情報入手不可
- ↑ (Green) : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ (Yellow) : 穏やかに改善
- (Orange) : 停滞
- ↓ (Red) : 悪化
- (Grey) : 傾向把握不可

(出所) Sustainable Development Report

## 「女性の活躍推進」に関する取組

### 政府による「ジェンダー平等」に関する取組

- Sustainable Development Report 2025によると、「ジェンダー平等」の項目は、課題が残っている状況にある。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
  - 労働力率の男女比
  - 教育を受けた平均年数の男女比
  - 近代的手法によって、家族計画についての自らの要望が満たされている出産可能年齢（15～49歳）にある女性の割合
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
  - 女性議員の議席数

### 「女性の活躍推進」×スポーツの事例

- CBF（ブラジルサッカー連盟）による「女子チーム保有の義務化」
  - CBFは2019年シーズンから、Campeonato Brasileiro Série A（一部リーグ）参加クラブに対して女子チームの保有を義務化。
  - 本取組はクラブの運営・ガバナンス基準を統一するクラブライセンス制度の一環として実施され、女子チームの保持も最低要件として含まれる。
  - CBFは義務化対象を下位リーグにも拡大する方針を示しており、女性スポーツ参加の制度的基盤が強化されつつある。

## 「健康・福祉」に関する取組

### 政府による「健康・福祉」に関する取組

- Sustainable Development Report 2025によると、「健康・福祉」の項目は、いくつかの項目を除き達成している状況である。
- 「健康・福祉」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
  - 妊産婦死亡率
  - 新生児死亡率
  - 5歳未満児死亡率
  - 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率
  - 専門技能者の立ち会いの下での出産の割合
  - ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) のサービス普及率指数
  - 主観的幸福度
- 「健康・福祉」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていないもしくは不明。
  - 10万人当たりの結核感染者数
  - 新規HIV感染者数
  - 家庭内及び外部の大気汚染による死亡率
  - 道路交通事故による死亡率
  - 出生時平均余命
  - 女性1,000人当たりの青年期の出生率
  - WHOが推奨するワクチンを2回接種した乳児の生存率

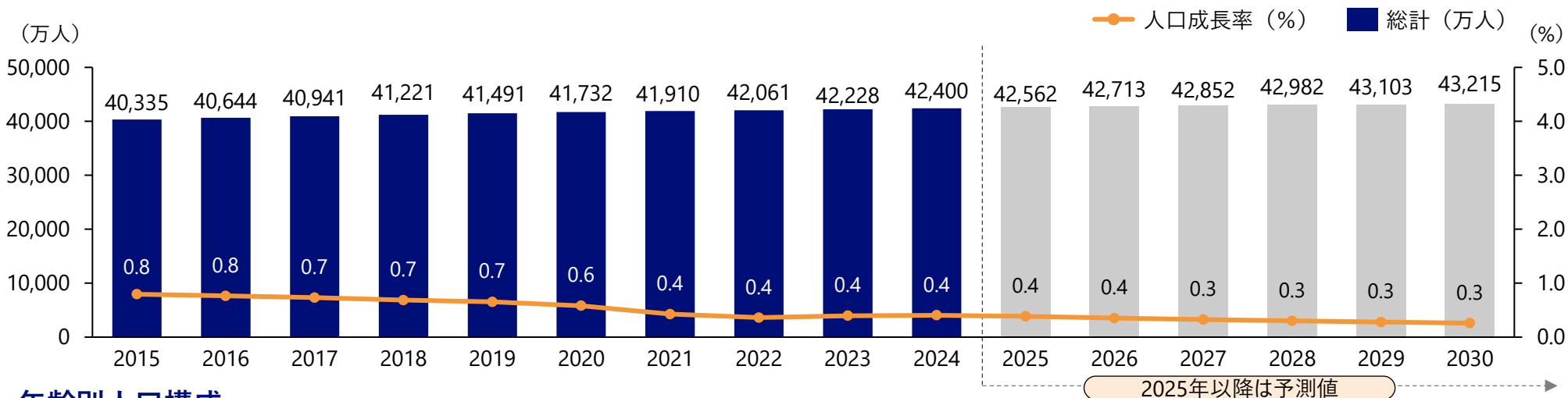
### 「健康・福祉」×スポーツの事例

- Programa Academia da Saúde
  - 2011年に保健省が創設し、ブラジル統一保健医療制度 (SUS) に組み込まれた国家レベルの健康増進プログラム。
  - 身体活動・運動習慣の定着を通じて、非感染性疾患 (心血管疾患、糖尿病、高血圧、肥満等) の予防・管理を強化し、健康格差の縮小と生活の質の向上を図ることを目的とする。

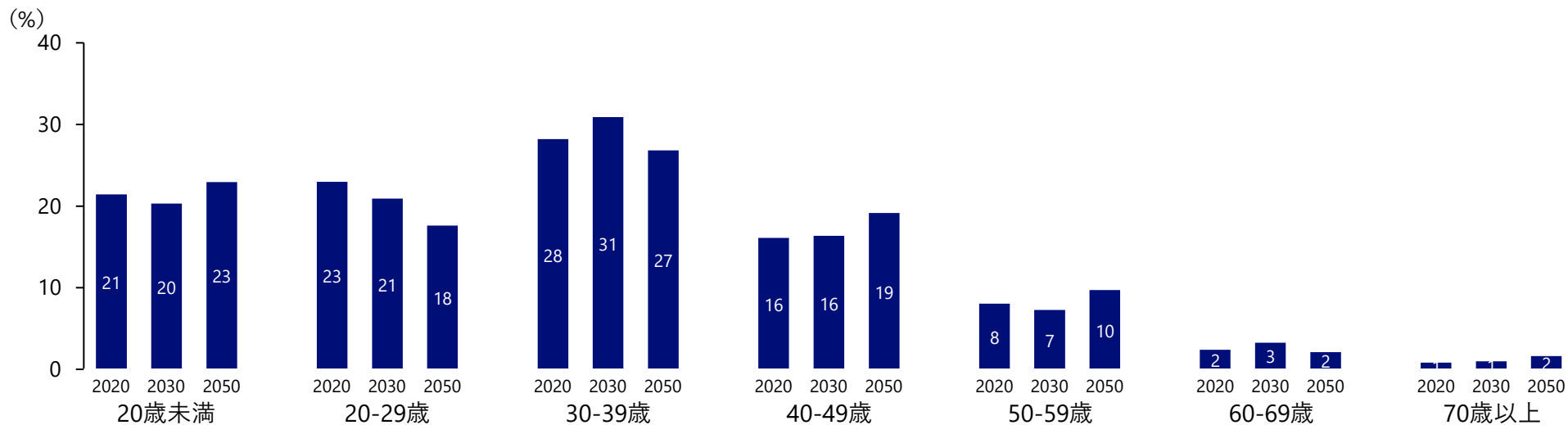


# 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

## 人口動態、および人口成長率



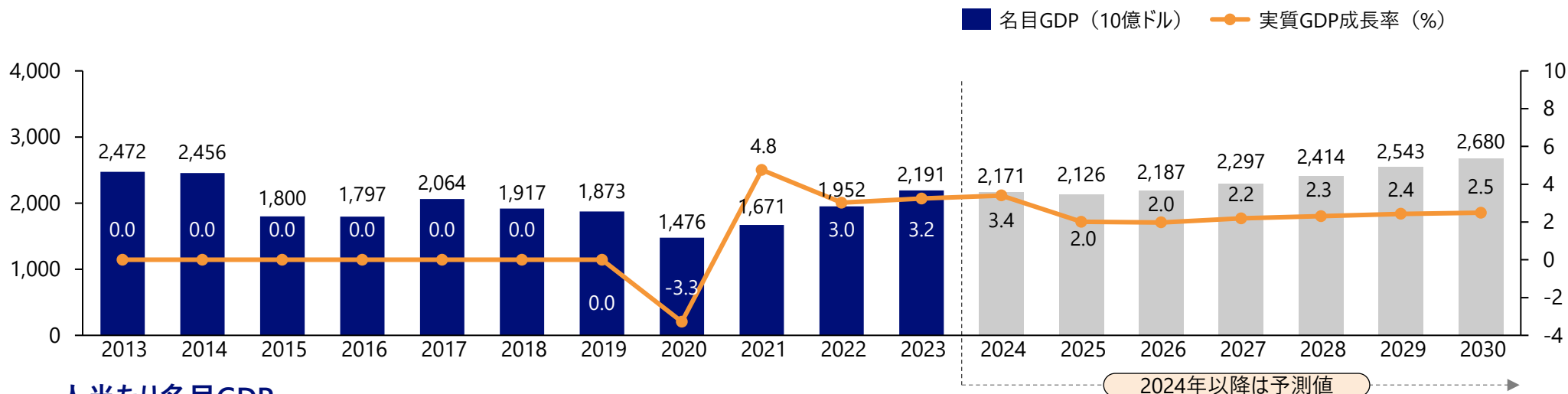
## 年齢別人口構成



(出所) 国際連合「World Population Prospects」

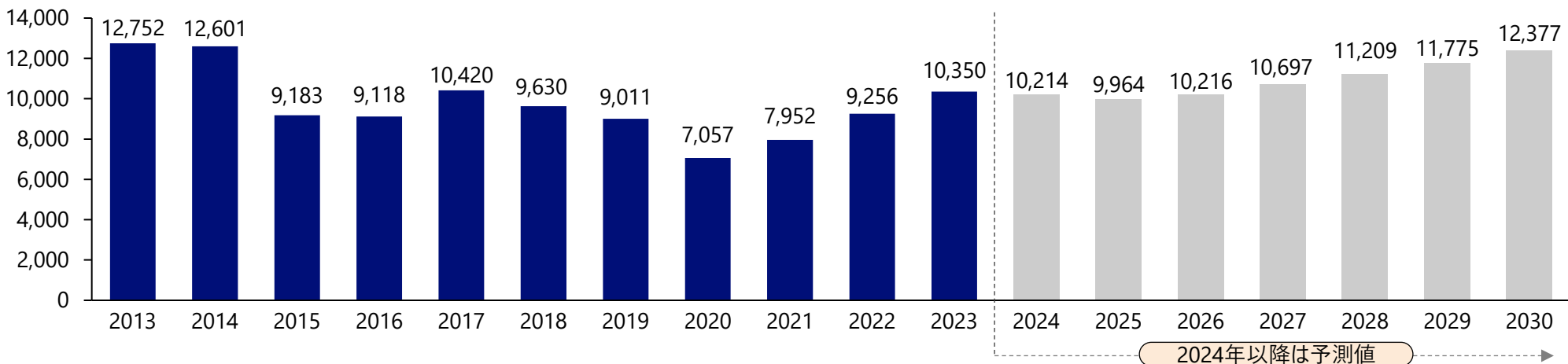
# GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

## 名目GDPおよび実質GDP成長率



## 一人当たり名目GDP

(ドル)

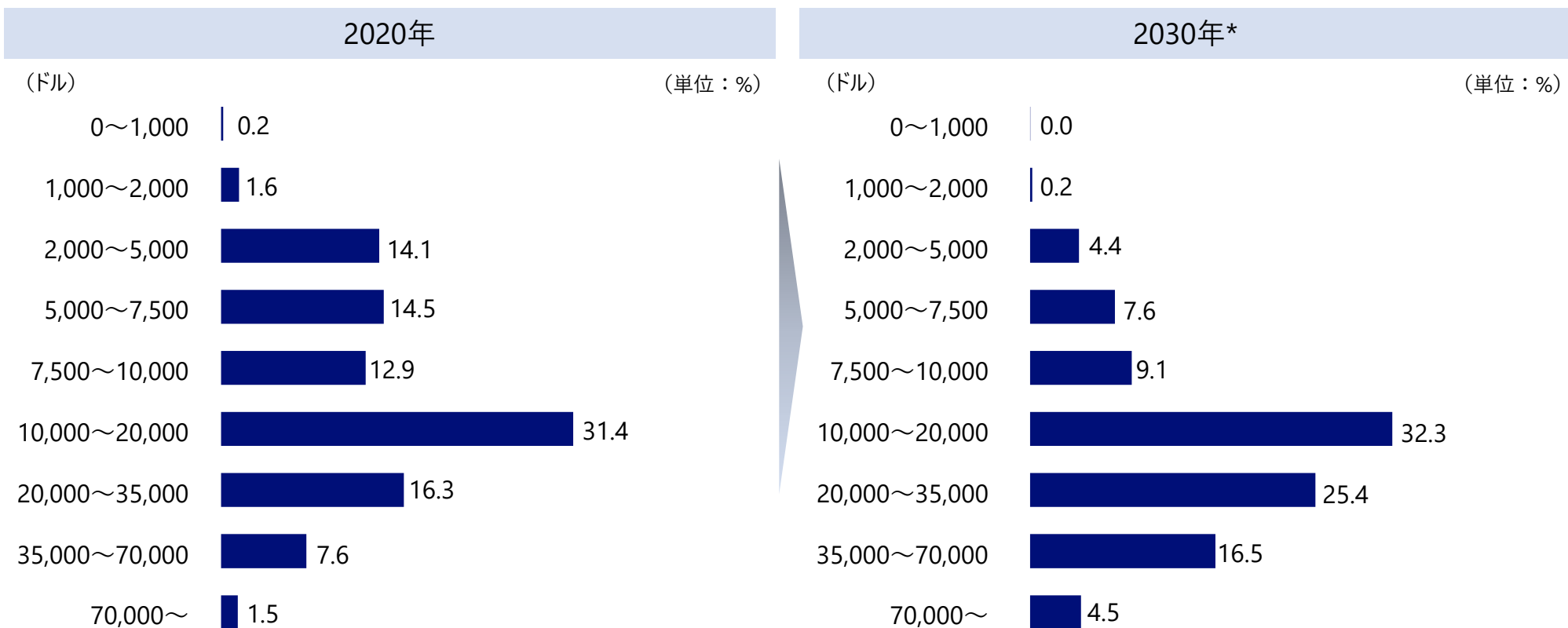


(出所) Statista

## 世帯所得分布

- 2020年では、世帯所得1万ドル以上の層が56.7%を占めており、2030年にかけて世帯所得の増加が見込まれている。
- 世界銀行の所得分類においてブラジル連邦共和国は「高位中所得国」に位置付けられる。

### 世帯所得分布



\*予測値

(出所) Oxford Economics、世界銀行「World Bank Country and Lending Groups」

## 賃金

■ ブラジル連邦共和国の製造業に従事する作業員の基本給・月給は、561ドル。

■ 現地人材の確保を巡り、地場企業や中国系企業との競争が激化している。

### ブラジル連邦共和国の製造業と非製造業における賃金と前年比昇給率

		基本給・月給 (単位：米ドル)	法定最低賃金*** (単位：米ドル)	名目賃金上 昇率(%) (2022年)	名目賃金上 昇率(%) (2023年)
製造業	作業員*	561	連邦：251/月	6	9
	エンジニア*	3,213			
	マネージャー*	4,018			
非製造業	スタッフ** (一般職)	621	リオデジャネイロ州： (1) 220/月、(2) 228/月、 (3) 245/月、(4) 296/月、 (5) 447/月、(6) 562/月	6	9
	スタッフ** (営業職)	711			
	マネージャー**	3,706			

・ 調査対象はリオデジャネイロ。換算レートは1米ドル = 5.6230リアル（2024年9月2日のインターバンクレート仲値）

\*年間売上3億リアルから4億9,990万リアルまでの企業の税込給与額の平均。社会保障等諸手当含む。

\*\*年間売上3,100万～4,590万リアルの企業の税込給与額の平均。社会保障等諸手当含む。

\*\*\* (1) 農林水産業、家事代行業、一般労働者など (2) 理容業、マニキュア店、料理人など (3) 農林水産業管理職、クリニックや病院関係受付人など  
(4) クリニックや薬局の技師など (5) 初等教育教師など (6) 管理職、弁護士、会計士、看護師など

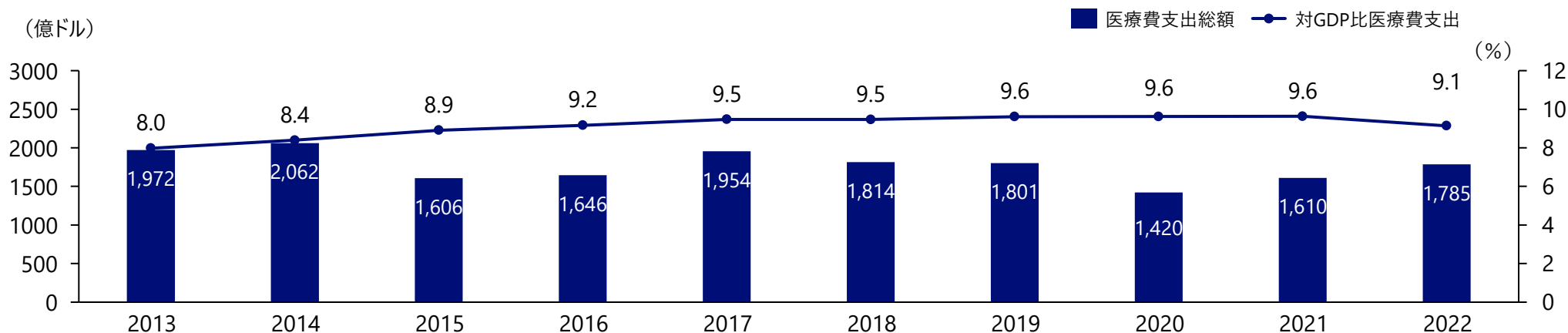
(出所) JETRO「2024年度 中南米投資関連コスト比較調査」「海外進出日系企業実態調査 | 中南米編」

## 医療費支出

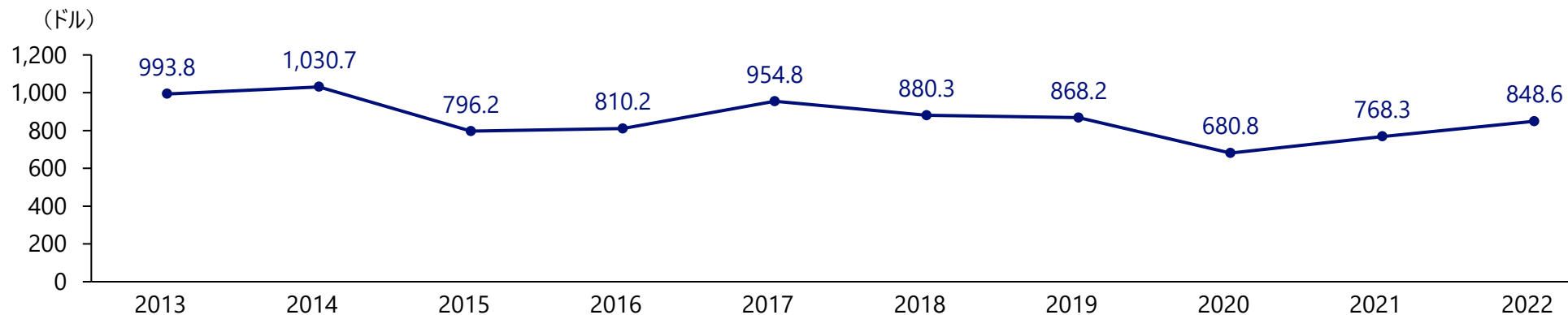
■ 2022年の医療費支出は1784.6億米ドルで、対GDP比で9%。

■ 2022年の一人当たり医療費は849米ドル。

### 医療費支出総額と対GDP比医療費支出



### 一人当たり医療費推移



## 疾病構造・死亡要因

- ブラジル連邦共和国で最も多い死因は虚血性心疾患となっており、脳卒中、下気道感染症、アルツハイマー病が続く。

### 疾病構造（死亡要因）の内訳（2023年）

順位	疾病名
1	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）
2	Stroke（脳卒中）
3	Lower respiratory infect（下気道感染症）
4	Alzheimer's disease（アルツハイマー病）
5	Diabetes（糖尿病）
6	COPD（慢性閉塞性肺疾患）
7	Interpersonal violence（対人暴力）
8	Chronic kidney disease（慢性腎臓病）
9	Lung cancer（肺がん）
10	Road injuries（交通外相）

運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

## 外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・禁止業種	<ul style="list-style-type: none"> <li>外資企業は内資企業（ブラジル企業）と同じ扱いを受けることが憲法により保証されている。郵便、マスメディア、航空宇宙産業、輸送、軍需、資源開発等の分野では、外資参入が禁止または規制されている。</li> </ul>
出資比率・資本金に関する規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>外資規制業種に該当する場合、出資比率に制限がある。</li> <li>最低資本金に関する規定はないが、駐在役員のビザ取得のために、一定額を投資する必要がある。また、資本金の本国送還は可能。配当金の送金も認められている。</li> </ul>
外国企業の土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効な居住許可を保有しブラジル国内に居住する外国人や、外国企業がブラジルの法令に従いブラジル国内に設立した企業は、一定の制限があるものの、土地・不動産の取得・所有が認められている。外国に居住する外国人や外国企業によるブラジル国内の土地所有は禁止されている。</li> </ul>
関税制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数の関税率体系が併存している。（基本税率、暫定税率、地域協定譲許税率（ラテンアメリカ統合連合（ALADI）、メルコスール）、協定譲許税率（GATT）、発展途上国間特惠税率）</li> <li>特惠等特別措置として、ALADIにおける貿易協定などに加え、発展途上国間特惠税率を適用。</li> <li>関税以外の諸税として、工業製品税（IPI）、商品流通サービス税（ICMS）、社会統合基金（PIS）、社会保険融資負担金（COFINS）、商船隊更新追加税（AFRMM）が存在。</li> </ul>
その他規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人による経営：外国人がブラジル国内の会社の経営者となる場合には、ビザが必要。</li> <li>法人登録番号（CNPJ）の取得：外国企業がブラジル国内で投資を行う場合、法人登録番号（CNPJ）の取得が必要。法人登録番号は、出資者として定款に記載する際にも必要。</li> <li>株主状況の報告：ブラジル国内に不動産、車両、銀行口座、金融資産等を所有する企業は外国企業、内国企業を問わず、最終受益者まで遡る株主状況を報告する必要がある。</li> <li>外国企業による公共事業への入札・国産製品に対する価格優遇策：2024年4月から正式発効した新公共入札法は多くの点で世界貿易機関（WTO）政府調達協定（GPA）に準拠する内容となっている、旧公共入札法では、外国企業は原則、国際案件入札にのみ参加が認められていたが、新公共入札法は外国企業に対してブラジル企業と同一の入札条件を適用することを定めており、国際案件入札だけでなく国内案件入札への参加も可能となった。</li> </ul>

（出所）JETRO「日本からの進出に関する制度/外資に関する規制/関税制度」